



日本には昔から独特の色の呼び方がありました。vol.33のカラーは紅梅色です。紅梅の花弁に由来する色名で、明治・大正期に一般に普及しました。

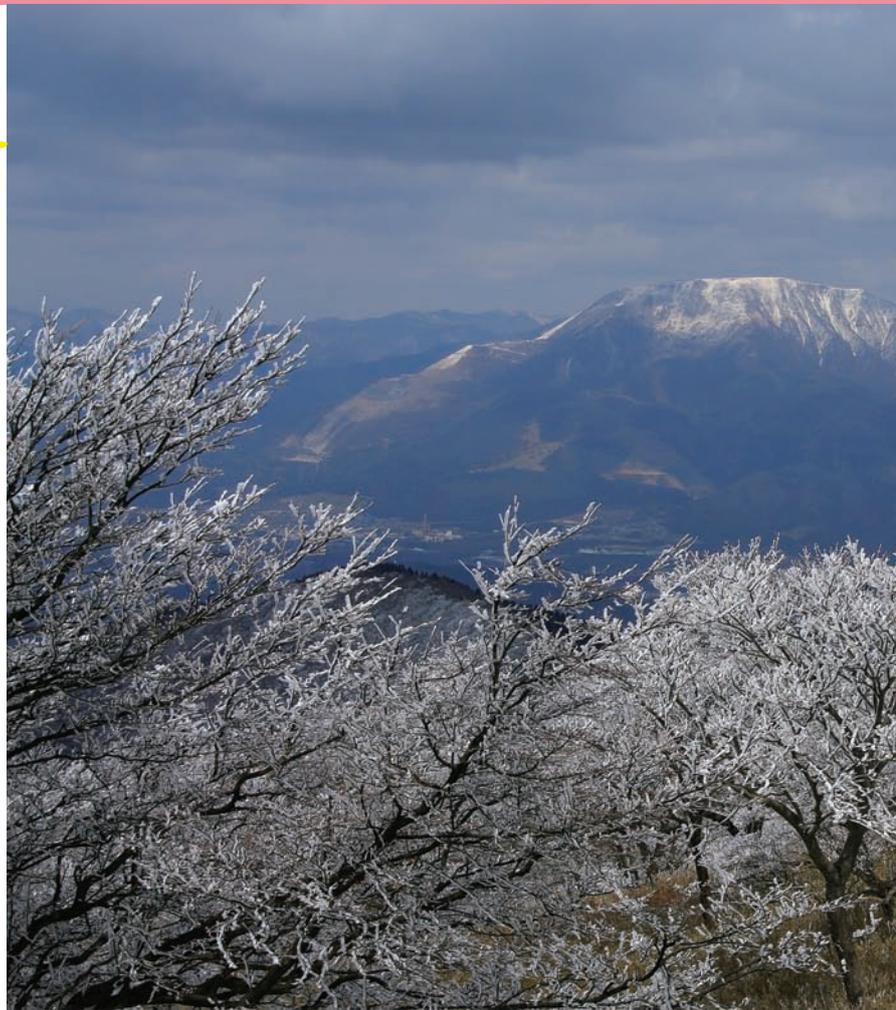


写真 中村幸雄(2009.3.28撮影)

### 春を待つふたつの霊峰

霊峰と呼ばれる山がある。伊吹山と霊仙山だ。伊吹山は日本百名山のひとつに今も数えられ、標高は1377.3メートル。『古事記』『日本書紀』の時代から神の座す山として知られている。

およそ1300年前、霊仙山は頂上に本山霊仙寺を、山麓に七つの支院を配した山岳仏教の聖地だった。最澄によって比叡山延暦寺が開かれる1000年前のことである(標高は1083メートル)。

### 福寿草 キンポウゲ科の多年草

花言葉は、「幸福」「幸せを招く」「永久の幸福」「回想」「思い出」。3月末、霊仙山にはようやく春が訪れ、福寿草が雪を割りその所在を知らせるのだ。



写真 中村幸雄(2009.3.28撮影)

ご希望の方にアイスクラブ通信「虹」保存用ファイルを進呈いたします。同封のプレゼント応募ハガキのファイル希望欄にを入れお申し込みください。

## 春のお彼岸ですね！

お彼岸は、サンスクリット語

「六波羅蜜」の徳目を実行し

の「波羅蜜多(パラミタ)」が「彼岸」に到れるよう反省し心に誓い、同時にご先祖さまの冥福を祈る日がお彼岸法要です。

彼岸とは「悟りの世界」を意味し、お彼岸には、ご先祖さまのお墓浄土を現します。対して、迷いや苦悩に満ちたこの世を此岸(しがん)と言います。此岸の者が「六波羅蜜」を修行することで、彼岸へ達することができるといふものです。

お彼岸は、春彼岸(毎年3月の春分の日をはさんで7日間)、秋彼岸(毎年9月の秋分の日をはさんで7日間)です。それぞれ初日を「彼岸の入り」、終日を「彼岸のあけ」、春分の日、秋分の日を「お中日」といいます。

「六波羅蜜」とは、  
1、布施(他人への施しをすること)  
2、持戒(戒を守り、反省すること)  
3、忍辱(不平不満を言わず耐え忍ぶこと)  
4、精進(精進努力をすること)  
5、禅定(心を安定させること)  
6、智慧(真実を見る智慧を働かせること)

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、お彼岸が最も過ぎやすい季節になります。きれいな夕陽が拝めるよう、春彼岸の間、晴れるといいですね。

お墓参りには家族そろって出かけましょう。ご両親がご先祖さまを祀る姿は、彼岸の習慣と共に、後生に受け継がれるに違いありません。お墓参りには特別な作法はありません。

(一般的な仏式のお彼岸について掲載しました。宗派により解釈に違いがありますのでご了承ください。)



のくんびり、近江戦国の旅 賤ヶ岳 ①



公益社様とのご縁をいただき、「ニッポン発見伝」や「くつろぎスポット」などの記事を担当することになりました。精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

文・写真 北原元気



「三年目の幽霊」

落語の死生観

大恋愛のすえ結婚いたしましたでしたが、ある日亭主の熱心な看護の甲斐もなく女房は死んでしまいました。死ぬ前に亭主が、「もし私が後妻を持つようなことがあったら、婚礼の晩に幽霊になって出ておいで。そうすれば、どうしても私は独身で暮らさなきゃならなくなる」と約束しました。

泣く泣く野辺の送りをすませ、中陰もすみ、百ヶ日たないうちに、親戚のものから再婚をすすめられます。はじめは断っていましたが、とうとう後妻をむかえることになりました。

婚礼の晩に幽霊が出るはずでしたが、ついにあらわれません。そのうちに子供も生まれ、三回忌の法事をつとめることになりました。その晩、八ツの鐘がなる頃、先妻が幽霊になってあらわれました。黒髪をおどろに乱し、恨めしそうに枕元に座って恨みごとを言います。

「なぜもっと早く出ない」「私が死んだとき、ご親戚中で頭を剃ったでしょう」

「そりや、親戚中集まって、一と剃刀ずつ当てて、お前を棺に納めた」

「坊さんでは愛想をつかされるから、毛の伸びるまで待つてました」

中陰は、人が亡くなってから四十九日間のことをいい、亡くなった日を一日目として数えます。

最初の七日目を初七日、次の七日目を二七日、以下同様に三七日、四七日、五七日、六七日となり、七七日(四十九日)を満中陰といわれます。

子はさまざまな力

タチで残っている。

時間をかけて賤ヶ

岳周辺を過去と現

在を重ねるように巡

ってみるの

もいだろう……。

ところで、賤ヶ岳リフトは長

浜市木之本町大音(「大音は「お

とと読む)にある。現在、大音は「琴

糸の里「糸とりの里」として知

られる閑寂な集落だが、石田三

成の家臣、大音新介の出身地だ

ということを知る人は少ない。

新介は、太閤検地において、三成

より島津領の総奉行を命ぜられ

た人物である。

また、大音には伊香津臣命(伊

香津臣命)の

墓がある。

また、大音には伊香津臣命(伊

香津臣命)の

墓がある。

また、大音には伊香津臣命(伊

香津臣命)の

墓がある。

また、大音には伊香津臣命(伊

香津臣命)の

月上旬運行予定。

麓から登山道を歩くと

小一時間はかかる。結構な急

斜面である。リフトを降りて約

10分、山頂に到る。山頂から尾根

づたいに、大岩山へ向かうハイ

キングコースも整備されている。

大岩山は、天正11年(1583)、

賤ヶ岳合戦における最初の戦い

があつた場所だ。

柴田勝家方の佐久間盛政が大

岩山の砦を奇襲し、勝利した佐

久間は余勢をかって賤ヶ岳に進

撃。この知らせを聞いた秀吉は

大垣より駆けつけ、賤ヶ岳の合

戦へと突入する。結果、秀吉方

が勝利することになる。合戦の様

子がさまざまなか

タチで残っている。

時間をかけて賤ヶ

岳周辺を過去と現

在を重ねるように巡

ってみるの

もいだろう……。

ところで、賤ヶ岳リフトは長

浜市木之本町大音(「大音は「お

とと読む)にある。現在、大音は「琴

糸の里「糸とりの里」として知

賤ヶ岳の合戦は、織田信長の後継者をめぐり、柴田勝家と羽柴秀吉(豊臣秀吉)が激突した戦いである。近江、美濃、伊勢と戦いは広範囲に及び、乱暴な言い方だが、賤ヶ岳はその最終決戦の場である。現在は、「新雪、賤ヶ岳の大観」として知られる新近江八景景勝地である。

山頂からは、奥琵琶湖、比良山系、美しい湖山を望み、転じれば伊吹山、小谷山、虎御前山、眼下には羽衣伝説の余呉湖を望む。余呉湖の背景には柴田勝家方が陣を構えた山々が連なっている。東の登山口、大音からリフトが利用できる(リフトは冬季運休、4



■ 賤ヶ岳の眺望。上/奥琵琶湖、下/余呉湖(2009.6.22撮影)

カツオミノミコトを祀る伊香具神社がある。この伊香津臣は羽衣伝説で天女と結婚し二男二女をもうけた伊香刀美(イカトミ)であり、この一族こそ伊香郡を開拓し栄えた伊香連(イカムラジ)の祖先だと伝わっている。

春まだ浅い、戦国の夢跡を巡り、興味の赴くままに旅をする。この辺りの歴史の奥深さを体感しながら見えてくる景色は、また新しい旅へと誘ってくれるのである。

のくんびりとゆっくり歩く者にしか、見えない世界があるのだと思う……。



■ 伊香具神社の「伊香式鳥居」、奈良の「三輪式鳥居」と安芸の「敵鳥式鳥居」を組み合わせたような特殊な様式。(2010.2.11撮影)

知っておきたい

# 儀礼文化

読者のみなさまからのお便りの中に次のような質問がありました。

『香典・お見舞い・お祝い事のお返しは、いただいた額のどれくらいお返しすればいいのでしょうか。』

私たちの暮らしには、長い歴史のなかでカタチづくられてきた様式や形式があります。「儀礼」とは幅広い意味を持つ言葉ですが、ここでは、私たちが受け継いでいるはずの、カタチについて、振り返ってみたいと思います。

『香典・お見舞い・お祝い事のお返し』も儀礼文化のひとつです。お返しの目安として、お役立ていただければ幸いです。

## 香典返し

香典返しは「半返し」と言っても香典金額の半額程度のもので返すのが妥当、と言われるています。

ただ、一家の働き手を亡くした場合は「三分返し」といい、いただいた金額の三分の一程度の品物を返すこともあります。

また、香典返しに対してのお礼状などは、二度あつてはならないことから不吉と言われますので、改めてお礼をしないのが慣例になっています。もし、返事を出す場合には、「ありがとうございます表現を避け、ご丁寧なご挨拶をいただき、恐縮です」というような表現にします。

## 慶事の返し

「慶事(けいじ)」とは、簡単に言えば、一般的に「お祝い事」といわれている事柄です。たとえば出産祝いや還暦のお祝い、結婚に伴うお祝いなど多種多様です。

### ● 結婚祝いのお返し

「のし」は白赤または金銀の結び切りで、表書きは「内祝」。下段に本人たち2人の名を書きます。費用は半返しが基本です。

職場の同僚が何人かでお祝いをくれた場合などは、新居に招いたり、新婚旅行のお土産など、感謝を込めてお返ししたいものです。

### ● 出産祝いのお返し

「のし」の水引きは蝶結びとし、表書きは「内祝」。下段はお子さんの名を記入します。費用は半返しが目安となります。お祝いをいただいた方全員にお返しをします。

手紙と一緒に、(大げさなものでなくても)赤ちゃんのスナップ写真を添えるのもよいでしょう。

### ● 快気祝い

お見舞いいただいた金額の「半返し」もしくは「三分返し」が目安とされています。

職場関係で「部」や「課」ごとにお見舞いをいただいた場合には、「〇〇部御一同様」として、快気祝いをま

### ● 新築祝いのお返し

とめて贈ることも可能です。最近では商品券などが人気ですが、快気祝いでは「病気が残らない」との意味から一般的には「食べて残らないもの(お菓子など)」や「洗い流すもの(洗剤など)」を贈るのが、縁起が良いとされています。

「入れるもの」を贈る習慣がありますが、また、それほど親しくない方にお祝いをいただいた場合には、いただいた品の半額くらいのお返し

ECO 今昔  
1

## お掃除は、 重曹と酢酸で



日差しが暖かく、窓を開けて過ごすことが多くなると、部屋のほこりが気になります。思い切ってお掃除してしまいましょう。

こんな時には、重曹とお酢がおすすめです。特に風呂場では重曹が重宝です。重曹はアルカリ性で浴槽についた脂肪分を含む酸性の汚れを中和して落としますので、スポンジにつけて軽くこすれば浴槽の水アカや汚れがきれいになります。

お台所の床掃除には自家製の「酢酸クリーナー」が便利です。酢酸はすばやく汚れを落とす力があり、台所の床などにこびり付いた汚れの膜を取り除きます。油汚れやスリッパでこすった跡を取りたい時は、重曹をまいてから布やスポンジでこすります。しつこい汚れもまず重曹でこすり、この酢酸クリーナーをかけて泡立ると汚れは簡単に落とせます。是非、お試しください。

● **材料** フタ付き容器(空のペットボトル・広口ビン等)、同量の酢酸と水、\*香り用のエッセンシャルオイル(柑橘系・ミントなど)。

● **作り方** 酢酸と水と同じ分量、容器の口いっぱいまで入れます。お好みで香り用のエッセンシャルオイルを数滴加えます。容器をよく振って液全体を混ぜます。これでクリーナーの出来上がり。

床に直接かけて布かモップで拭き取ります。重曹も酢酸も薬局で売っています。天然の材料で作るので何より安心ですね。



## アイスクラス 提携店ご案内

会員のみなさまの暮らしに役立つお店を紹介するコーナーです。詳しくは各店にお問い合わせください。

● 提携店一覧表を同封しております。

## 会員特典 無料税務相談



相続税に特化した税理士がパートナーとなり、個々のニーズに応じてサポートいたします。受付時間 9:00~18:00

**大辻税理士法人**  
〒522-0041 彦根市平田町410-6  
tel.0749-23-6412

## 会員特典 1ポーズサービス



デジタルデータの保存も便利ですが、一生の思い出を、プロの撮影技術でキレイな写真を残しませんか。出張撮影もいたしますので、ご相談ください。

**ひろい写真館**  
〒522-0081 彦根市京町8-18  
tel.0749-23-5155

## 会員特典 スタジオ撮影料金 10%OFF



ご入学、ご卒業の記念写真は、一生の思い出として心に残ります。当店は、最新設備のスタジオを完備。プロカメラマンが皆様のお越しをお待ちしています。

**ダイヤモンドフォト**  
〒523-0051 近江八幡市八木町130-5  
0120-928-403

農山村で、ある程度歳の行った村人として話をしていると「守りをする」という言葉に出会う。「田んぼの守りをする」とか「山の守りをする」という用法である。近江でなら、より正確には「守りさしてもうてる」といいう言い回しになる。

田畑や山林とのつきあいについて、相手を人にとえて言っているのだが、それだけではなく、この「守りをする」という言葉には、村人たちの自然観や人生観があらわれており、また、自らののちへの自覚が込められている。

「守りをする」という言葉には、田畑や山林、自然資源は、仮に自分に所有の権利があり使用の権

利があるのだとしても、どこかに「これは預かりものである」という気持ちが含まれている。また、この言葉の奥底には「田畑といえども、自然はなかなか、自分の思い通りにはならないのだ」という達観がある。

村人が「預かりもの」としての田畑、資源の「守りをしている」と言うとき、その田畑、資源は誰から預かっているのか。それは、自然から預かっているのであり、先祖から、また子孫から預かっているのである。

先祖や子孫など、古くさいことを言うと思われるかもしれないが「わたしの人生八十年などというものは、先祖代々百年千年の昔から、子々孫々百年千年

の未来にわたるいのちのつながりから見れば、ほんの一瞬としか言えないものだ。そのことを思えば、自分の人生さえ、縷々つながりゆくいのちをたまたま自分が預かっている一瞬なのであるゆえに、自分ひとりのものではない」と古老がきつぱり言い切っているのは、その土地に根を張って生きてきた者の強さである。

村の宴会で、青年がやおら立ち上がり「自分は死んだらこの土地の土になり、やがて西暦三千年のころにでも、この村の子供たちが口にする米の一粒になるのだ」と堂々宣言するのを聞けば、死後には「千の風になつて」吹きまわるしかない自分の所在

のなさに引き比べると、やはり羨ましい彼である。

古老に倣えば我々のこの人生自体が過去未来はるかないのちの「守り」をしていることなのである。また青年の言うように、この土地自然に先祖は血と汗を注いで来ていまがある。やがて自分もそれに合流するのだという考えは、根源的にエコロジーである。

さて、百年千年の縦のつながりもたらす安心というものは、当人たちには半ばしぼりであり、また重荷でもあろうが、それを捨て去り失ってしまったときには、それはそれに代わるものをといて簡単に探し出したり創ったりできるものであろうか……。

\*縷々(るる)……細く長くとぎれることなく続くさま。



## ご愛読者プレゼント

アイリスクラブ会員みなさまに日頃の感謝の気持ちを込めてプレゼント!

- 「チューリップの鉢植え」を10名様にプレゼントいたします。同封の応募ハガキに本誌へのご意見・ご感想及び必要事項を記入しご応募ください。
- 応募締切 平成22年3月20日(土)必着
- 当選された方にはプレゼントお渡し日・場所をご連絡させていただくと共に、次号にて発表させていただきます。

チューリップの花言葉

「博愛」「思いやり」「名声」「恋の宣言」  
赤…「愛の告白」、ピンク…「真実の愛」、  
紫…「不滅の愛」



vol.32「お正月寄せ植え」ご当選者

■彦根市/杉本久夫様・石田義彦様 ■東近江市/河上整一様・山脇一宏様・廣田行雄様・森谷みゆ様 ■近江八幡市/入口貞夫様 ■甲良町/木村修様 ■多賀町/黒住篤様・友本ケイ子様

**IRIS**  
Flower Garden  
INFORMATION

ご入学、ご卒業のお祝い用花束・アレンジなど承ります!

フラワーガーデン アイリス

〒522-0043 彦根市小泉町696番地8

tel.0749-26-8783 fax.0749-26-4141

葬祭のご相談は公益社まで

無料

ご相談は24時間受付!  
見学など随時お申し込み

0120  
FreeDial

0120-42-0966

tel.0749-22-5000 fax.0749-22-0042

誌面リニューアル  
について

アイリスクラブ通信をご愛読いただき、ありがとうございます。前号にてお知らせいたしましたリニューアル第1号をお届けいたします。

私たちのテーマは「日本!再発見(Rediscover JAPAN)」です。壮大なテーマですが、私たちなりに、気持ちがあく風景や情報を追いかけてながら、美しい日本、忘れたくない日本、思い出したい日本、継いでいきたい日本、さまざまな日本を、みながまとこの結びつきを大切にしながら見つめ直してみたいと思っております。

何卒これからもご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 公益社

代表取締役 木川 英樹